

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医政局国家試験等電算化経費	担当部局庁	医政局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和55年度～	担当課室	医事課	課長:田原克志				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-2 医療需要に見合った医療従事者を確保する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	(1)医師等国家試験業務において、国家試験業務の迅速化を図るとともに、各試験委員の試験問題の作成支援等のために、プール制に伴う試験問題の蓄積・編集を行う。 (2)合格者データ等を電子化することによる新規免許登録事務の迅速化及び紙媒体である登録者籍簿を電子化することにより、籍訂正事務の効率化並びに医師等資格確認検索システムの運用によって、国民の生命・健康の保護に寄与すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)医師等国家試験業務において、受験者データ、採点、合否判定データ等を電算化し、試験事務を迅速化するとともに、医師等国家試験の試験作成委員会において、試験問題の作成支援のため、既出問題、公募問題をプールしたものを使用し、試験問題を作成し、今後の試験問題作成支援のため良質な試験問題を揃えておくもの。 (2)医師等14の医療関係職種については、合格発表(毎年3月下旬から4月上旬)直後に約9万人の免許申請が医事課試験免許室に集中するが、合格者データ等を電子化することにより速やかな新規免許登録に資する。また、紙媒体である登録者籍簿の電子化により、年間5万人を超える氏名等の訂正(籍訂正)事務の効率化を図る。さらに、平成19年度から稼働している医師等資格確認検索システムにあっては、ホームページ上で医師等の氏名を検索できるようにすることにより、国民が医師等の資格を確認できるようにし、医師等でない者からの医療の提供を避けることを可能とする。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	128	121	150	113	253	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	128	121	150	113	253	
		執行額	98	95	150			
	執行率(%)	76.6%	78.5%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	医療施設従事医師数 平成16年:256,668人、平成18年:263,540人 (102.7%) ※医師・歯科医師・薬剤師調査より(2年ごと)		成果実績	人	271,897	—	集計中	前回調査以上
			達成度	%	103.2	—		
	就業看護職員数 ※医政局看護課調べ		成果実績	人	1,370,264	1,397,333	1,433,772	前年度調査以上
		達成度	%	102.8	101.4	102.6		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	医師等10職種受験者数		活動実績 (当初見込み)	人	99,373	103,253	106,757 (106,196)	— (105,889)
	医師等10職種合格者数		活動実績 (当初見込み)	人	88,222	89,895	91,866 (93,110)	— (93,095)
単位当たりコスト	1,162(円/受験者1人あたり)		算出根拠	平成22年度執行額/平成22年度受験者数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	免許登録電算化経費	32	32	システムの再構築に伴う増				
	国家試験業務電算化経費	80	80					
	国家試験問題検索等システム再構築経費	0	103					
	国家試験問題Web公募システム再構築経費	0	37					
計	113	253						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>例年、予算額と執行額の乖離の理由を分析し、予算要求に反映させてきたところであり、執行率は高くなってきており、予算規模としては概ね妥当な水準であると思われる。今後は、執行においては、業務の効率化や一般競争入札によるコスト削減に取り組むこととしているが、予算要求に当たっては、国家試験制度の改善、厳格な試験の実施、免許申請の審査の更なる迅速化に伴うコスト増も勘案し、更に予算額を精査することとしたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業については平成23年度においても予算の縮減が図られており、事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、平成24年度に予定している国家試験関係システムの再構築を含めて、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>引き続き、業務の効率化や一般競争入札の実施などにより、効率的な執行に努めることとする。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p></p>			

厚生労働省
124百万円

〔国会試験業務及び免許登録業務の迅速化を
図るための電算化に必要な経費〕



【一般競争入札】

A. 株式会社等(5)
111百万円

B. 事務費
13百万円

〔免許登録管理システム機器更新・アプリケーション改修等〕

〔消耗品費等〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.新日鉄ソリューションズ株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	免許登録管理システム等運用保守業務	74			
計		74	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	新日鉄ソリューションズ株式会社	免許登録管理システム等運用保守業務	74	1	86
2	株式会社東計電算	医師外9職種国家試験出願願書等電算処理業務	26	3	65
3	三菱電機株式会社	Web公募システム運用保守業務	6	1	99
4	株式会社Shnet	医師等資格確認検索システム運用保守業務	4	2	96.2
5	株式会社事務マネジメント	登録証明書プライバシー保護に係る機器保守業務	1	—	—
6					
7					
8					
9					
10					